



連石 武則
水曜会

下水道事業の経営健全化を

問

①24年度末の人口普及率は68・1%だが、今後の見通しは。

- ②災害対策の取り組みは。
- ③企業債残高の削減は。
- ④下水道未接続者への対策は。

答

①29年度末までに71・3%を目標とし、計画的に整備する。



木村 秀樹
水曜会

市民病院の経営形態の見直しは

問

病院事業の経営形態を見直し、地方公営企業法の一部適用から全部適用へ移行するが、その内容と、市民にとってのメリットは。

答

全部適用による運営は、設置する事業管理者が組織、人事、

②今後も、老朽施設の長寿命化対策や災害に強い施設整備を計画的に行う。

③企業債残高は下水道事業の経営を圧迫し、一般会計に与える影響が大きいため、新規に発行する企業債を抑制するなど、目標を定め計画的な削減に努める。

④未接続の解消は、環境面や収益面からも重点的に取り組むべき課題と認識しており、今後も戸別訪問を中心に、下水道の役割や重要性を粘り強く説明し、解消に努める。

予算や契約等の独立した権限を持つことで、事務手続きの迅速化が図られ、必要に応じた医療機器の購入や医療スタッフの採用等が行える。その結果、市民にとって、より良い医療がより早く提供できる環境が整えられると考える。



市民病院に導入されたPET-CT

4月1日の移行が円滑にできるよう取り組む。



門田 雅彦
公明党

福山市都市ブランド戦略について

問

- ①福山市都市ブランドのロゴマークをもっとPRしては。
- ②ご当地ナンバープレートを導入しては。

答

①都市ブランド戦略の推進にはロゴマークなどを活用したPR活動は重要である。引き続き、

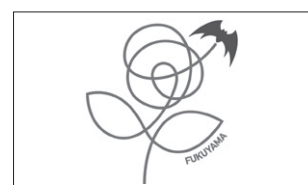


和田 芳明
公明党

神辺地区まちづくり事業の今後は

問

地域の特性に応じ、①区域を縮小して土地区画整理事業を行う区域、②地区計画により生活道路の整備を行う区域、③市街化調整区域に編入する区域に分けたが、それぞれの進捗状況と今後の取り組みは。



福山市都市ブランドのロゴマーク

さまざまな方法でロゴマークなどの浸透を図り、統一感と信頼のある都市ブランドの確立につながるよう、活用を行う。

②本来の目的以外に、観光振興や郷土への愛着を深めることなどを目的として導入している自治体が増加している。今後、都市ブランド戦略の取り組みなどが具体化されていく中で、より効果的な手法も含め鋭意検討する。

答

①審議会で審議しているが事業に反対の委員もおり、換地設計の前で停滞している。今後は地権者への少人数での説明会を開催し、事業への不安等の払拭に努め早期の事業着手に向け取り組む。
②昨年度に3路線の測量・設計を行い、今年度は設計済みの1路線で工事着手する。引き続き地元関係者と協議し、用地が確保できた路線は事業着手する。
③編入は、24年に県で都市計画の変更がされ、告示されている。早期に事業が進むよう、地域と協議を重ねる。

※企業債：地方債のひとつ。上下水道や公立病院などが事業資金を調達するために発行するもの。
※福山市都市ブランド戦略：他都市と明確に区別できる「福山らしさ」を設定し、戦略的なプロモーションにより、「福山」を良いイメージで発信、浸透させ、知名度も向上させることをめざすもの。